

青少年ふくしま

福島県青少年育成県民会議
第81号
令和7年3月3日

～令和6年度を振り返って！

令和6年度も早いもので3月となりました。桜の開花が待ち遠しい季節です。今年度も当県民会議の事業にご協力くださりましてありがとうございました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで思うように展開できなかった事業が、元に戻ったことを実感した年でした。これからも、様々な課題を抱える子どもや若者を育み支援するのは大人の私たちである、という思いをいっそう強くして、「大人が変われば子どもも変わる県民運動」を推進して参ります。今後もさらに充実した事業を展開していきますので、引き続き、御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

1 「大人が変われば、子どもも変わる県民運動」の推進

◇ 「大人への応援講座」

地域社会を構成する大人の行動、規範意識を喚起するため、県内の青少年育成団体や各事業所等が開催する「大人への応援講座への講師派遣」を実施しています。また、講座の充実を図るために、令和6年6月29日に講師会議を開催し、講師の皆さんによる情報交換を行いました。

めまぐるしく変化する現代社会を生きぬく若者を支える「大人への応援講座」の実績は、今年度4月から2月までで26件の要請があり、福島県内の多くの地域で実施されました。来年度も充実した講座が開催できるよう講師派遣を推進して参ります。



◇ ふくしま青少年育成セミナー

思春期から青年期にかけての子どもたちを様々な角度から見つめ、個々の子どもの発達に即して果たすべき親の役割などについて考えるとともに、子どもの自立を支えながら社会への参画を促して行かなければならない親や大人の心構え等についてセミナーを行っています。

第1回セミナー 令和6年6月29日(土)

「不登校と社会的ひきこもり」～本人目線を再考する～

講師 福島学院大学大学院 教授 佐藤 佑貴 氏

不登校の児童生徒の現状や社会的ひきこもりは、現代社会に関わる大きな問題であることを再認識させられました。

我々一般の大人の理解が大切であり、肯定的に支える姿勢が必要であることがわかりました。



第2回セミナー 令和6年9月21日(土)

「災害後やコロナ流行後のこころの調整法」～マインドフルネス～

講師 福島県立医科大学医学部

こころの医学講座准教授 瀬藤 乃理子 氏

マインドフルネスは、心の問題の改善と予防に役立つとして、広く注目される「自分自身の心を調整する方法」です。瀬藤先生から知っておくべき基礎知識をわかりやすく講義していただきました。

参加者からは、データに基づく現状理解や体を動かすことの重要性が理解できたという意見が多く寄せられました。



2 「地域の子どもは、地域で見守り育てる運動」の推進



ポスター部門 最優秀
福島西高等学校 渡邊 由香 さん

◇ 「家庭の日」 作文、絵画・ポスター作品募集

「家庭の日」にちなんだテーマを定め、小学生・中学生・高校生を対象に作品を募集して、「家庭の日」の普及に努めています。

作文部門1, 210点、絵画・ポスター部門198点(絵画170点、ポスター28点)の応募がありました。本年度は、数年ぶりに高校生のポスター応募がありました。

最優秀賞8点、優秀賞18点、優良賞29点を表彰しました。



最優秀 林 胡桃実さん

◇「少年の主張福島県大会」

次代を担う少年たちが心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、自立しながら、健やかな成長を遂げる契機となることを願い、中学生が日頃考えていることを主張する大会を開催しています。

今年度は、9月26日(木)、第46回大会を川俣町中央公民館で開催しました。県内各地の中学校165校より10,389点の応募がありました。会津若松市立第一中学校3年 林 胡桃実さんが、最優秀賞を受賞し、国立青少年教育推進機構より「努力賞」が授与されました。

3 青少年関係機関・団体との連携強化

◇「県民会議活動の推進」

5月22日(水)青少年会館において「理事会」、「総会」を行いました。総会の中では、「大人が変われば、子どもも変わる県民運動」等を推進する決議を行うとともに、福島県教育庁社会教育課及び福島県警察本部生活安全部少年女性安全対策課の行政説明を行いました。また、総会の最後には、大人への応援講座講師 七海圭子先生より「ひきこもりの現状と対応」と題してご講演をいただきました。



大人への応援講座講師 七海圭子氏

◇「第47回福島県青少年健全育成推進大会」

県民に対して、広く青少年健全育成の理解を深め、事業への積極的参加により青少年育成県民運動の一層の充実と定着を図るため行っています。

今年度は、11月22日(金)にパルセ飯坂で開催いたしました。青少年健全育成や指導に貢献された個人40名と6団体、市町村民会議2団体、また、家庭の日作品募集最優秀者の表彰をしました。



「最優秀賞」作文発表
玉川村立玉川第一小学校 5年
須藤 美月さん

◇「少年の主張」・「家庭の日」の作品集発刊

少年の主張の県大会出場者16名の作品と家庭の日の作文部門の4名、絵画・ポスター部門の4名の作品を掲載した作品集を発行しました。この作品集は、県内の全市町村及び学校等に配布し、普及啓発を図っています。



◇広報誌「青少年ふくしま」(第79号～第81号)の発行



◇市町村民会議等との連携の強化

県民会議事業の理解と認知度を高め、事業の参加率を高めるため市町村民会議等を訪問しています。

〈今年度市町村訪問先実績〉

会津若松市 猪苗代町 喜多方市
北塩原村 磐梯町 川俣町
古殿町 鮫川村

*少年の主張関係訪問

相馬市 石川町 いわき市 西郷村 喜多方市

◇「夏の思い出」ものづくり体験事業
『会津本郷焼 宗像窯9代目 宗像利訓氏
陶芸教室』

令和6年7月20日(土)

参加者 18名



4 青少年を取り巻く有害環境対策の推進

◇青少年健全育成県民総ぐるみ運動の推進

青少年健全育成審議会、地域家庭教育推進県北ブロック会議、社会を明るくする運動に参加・協力を行いました。

【連絡・問い合わせ先】 福島県青少年育成県民会議(福島県青少年会館内)
住所 〒960-8153 福島市黒岩字田部屋53-5
TEL 024-546-0002
FAX 024-546-8312
Mail f-kenminkaigi@fukushima-youth.com
HP アドレス <https://www.fukushima-youth.com/conference/>